

国公立大学・私立大学入試で役立つ！～英文読解編～ 解答解説

英語の文章中の空所補充問題になっている。まず、確認すべきは、選択肢である。選択肢を見て、ある程度品詞がバラけている場合は、文法的に解くことができる。逆に言えば、選択肢が形容詞で統一されているような場合は、文法が使えず、最終的には、意味で解くことになる。選択肢を品詞で分類すると以下のようになる。

- ① committed 本動詞(過去形)か準動詞(過去分詞形)
- ② deprived 本動詞(過去形)か準動詞(過去分詞形)
- ③ horrible 形容詞
- ④ impossible 形容詞
- ⑤ improving 準動詞(現在分詞形か動名詞)
- ⑥ obtain 本動詞(原形)か準動詞(原形不定詞)
- ⑦ remove 本動詞(原形)か準動詞(原形不定詞)
- ⑧ trying 準動詞(現在分詞形か動名詞)

上記の分類より、形が同じ選択肢が2つずつあることが分かるだろう。それぞれの品詞の分類を踏まえた上で、空所の順番に見ていこう。

(1)

【解答】④ impossible

【解説】

(1)は、空所の直前が an という不定冠詞になっており、空所の直後が dream という名詞になっているので、この名詞を修飾できる形容詞が入ると見当が付く。しかも、不定冠詞が a ではなく、an になっているので、発音が母音で始まる形容詞が空所に入る。正解は、④ impossible 「不可能な」になる。形が似ている③ horrible 「恐ろしい」は、発音が子音で始まるので、不定冠詞は、an ではなく、a にすべきである。ちなみに、ここでは、④ impossible は、unattainable 「達成不可能な」で言い換えられる。

(2)

【解答】② deprived

【解説】

(2)は、空所の直前が are で、空所の直後が of になっている。are は be 動詞なので、現在分詞形を入れて進行形にするか、過去分詞形を入れて受動態にするか、あるいは形容詞を入れる可能性がある。ここで、空所の直後の of に注目する。「O1 から O2 を奪う」は、deprive O1 of O2 で表せる。これを受動態化すると、O1 が主語の位置に移動して、空所の直後が of O2 になるので、② deprived が正解。その他の選択肢は、原則として、空所の直後に of は続かない。

(3)

【解答】⑤ improving

【解説】

(3)は、空所の直前が from という前置詞になっていることがポイントになる。前置詞の後に準動詞を持って来る場合は、動名詞にする必要があるので、解答の候補は、⑤ improving か ⑧ trying に絞り込める。空所の直後の目的語が their lives なので、意味的に⑤ improving (O) 「(O)を改善する」が正解。

(4)

【解答】⑧ trying

【解説】

(4)は、空所の直前が they are で、空所の直後が to overcome と不定詞になっている。ここでは、現在分詞形を入れて進行形にするか、過去分詞形を入れて受動態にするか、形容詞を入れる可能性がある。次に、空所の直後の to overcome の不定詞の用法がポイントになるが、目的語に不定詞を取れるのは⑧ trying O 「(O)を試みる」であり、これが正解。結果的に、この不定詞は名詞的用法になる。ちなみに、⑤ improving の improve は、原則として不定詞を目的語に取らない。また、improve を自動詞として、to overcome を目的を表す副詞的用法の不定詞と考えた場合、they are improving to overcome this difficulty は「彼ら(それら)がこの困難を克服するためによくなっている」などとなるが、これでは文意がはっきりしない。また、形容詞の horrible も文脈に沿わず適さない。

(5)

【解答】① committed

【解説】

(5)は、空所の直前が who is で、空所の直後が to helping と「前置詞 to+動名詞」になっている。「to+動詞の原形」(to 不定詞)ではなく、「前置詞 to+動名詞」を取る動詞は限られており、選択肢の中では① committed が正解。committed to V-ing あるいは commit oneself to V-ing の形で「V することに取り組む」という意味を持つ。

(6)

【解答】⑥ obtain

【解説】

(6)は、空所の前後が to helping children (in impoverished nations) (6) an education となっている。help が第5文型 (SVOC) を取る動詞であること、children が helping の目的語 (O) であることを考えると、helping children ~ (6) an education の空所には、目的格補語 (C) として動詞の原形が入る可能性が高い。候補としては、⑥ obtain か⑦ remove だが、意味的に⑥ obtain (O) 「(O)を獲得する」が正解。help は、help O (to) V ~で「O が V~するのを手助けする、O が V~するのに役立つ」という意味になる。この V は、前に to が付く場合もあるが、今回は付かずに原形不定詞になっている。help が第3文型 (SVO) を取る時も、不定詞の to が省略されて help V ~と原形不定詞が続くことがあるので注意したい。

(7)

【解答】⑦ remove

【解説】

(7)は、空所の前が taking every measure to となっており、後が poverty となっている。take every measure to V ~で「V~するためのあらゆる手段を取る」という意味で、to V の部分は不定詞の形容詞的用法になる。よって、空所には動詞の原形が入るが、意味的に⑦ remove (O) 「(O)を取り除く」になる。また、(6)で正解が得られていれば、消去法で解答の候補は⑦ remove のみになるが、時間があるときには相互に正しい答えになっているかを確認したい。

【全訳】

学校に行くことが不可能な夢のようなものと想像してみてください。多くの貧しい国々では、子どもは、教育の基本的権利を奪われている。教育の機会の欠如は、発展途上国の地域ボランティアの人たちに、貧しい人たちがその生活を改善することを妨げる著しい障壁として捉えられている。これに対応すべく、彼らはこの困難を克服しようとしている。国際機関のある職員は、貧困国の子どもが教育を受ける手助けをするのに尽力していて、「私たちは貧困を取り除くためにあらゆる手段を取り続ける」と言っている。